

2013 Vol.1特集「授業で高める自己肯定感」へのご意見

このコーナーでは、編集部寄せられた読者の先生方からのご意見をご紹介します。

*「VIEW21」小学版のバックナンバーは「ベネッセ教育総合研究所」ウェブサイト(<http://berd.benesse.jp>)でご覧いただけます。

◎本校でも、子どもの自己肯定感を育むことが最優先課題です。褒めて伸ばすことは大切ですが、「褒める内容」について、教師がどう支援してきたか、子どもをどう理解しているかを前提とすべきだと思います。特集を通して、改めて、子どもの達成感や意欲を支援する教師のあり方が大切だと実感しました。 [静岡県／T小学校]

◎子どもの変化を教師間で共有することで共通理解が深まります。自己肯定感の育成は、学校全体で取り組むことが大事だと思います。そのために、校内研修計画に位置付け、校内での情報共有を図っています。更に、昼休みや放課後などの会話で、担任が気付いていないところや他の教職員の気づきを伝え、子どもの自己肯定感を高めるようにしています。 [徳島県／N小学校]

◎日本の子どもの自己肯定感は本当に低いのでしょうか。日本人はとてと遠慮がちな奥ゆかしい国民性があり、単純に他国と比較できないのではないのでしょうか。自己肯定感とは授業では、グループ学習の係や役割の中で、友だちに褒められたり、必要とされることに気付いたりすることで育ちます。その集団がクラス→学年→学校へと広がると、更に育つと思います。 [長野県／S小学校]

◎自己肯定感を高めるためには、自分の力で学習できたという体験が大切です。板橋区立板橋第一小学校の自由進度学習は、子どもの主体性を育む上で興味を持ちました。また、子ども・教師共に成果が出ていることを考えると、ぜひ実践してみたいと思います。ただ、今までの本校の実践とはかけ離れているため、校長の強いリーダーシップが必要だと感じました。 [東京都／T小学校]

◎「私を育てたあの時代、あの出会い」の橋村伸爾校長が言われた「学校を取り巻く環境はさまざまに変化していますが、子どもを軸に考えれば指導がぶれることはありません」という言葉に勇気と自信をもらいました。そして、「教師が自分の思いを発揮できるよう、見守り、また支えていきたいと思います」という最後の言葉に共感し、私も同僚の先生方に同じように接していきたいと思いました。 [栃木県／N小学校]

◎港区立東町小学校は国際色豊かな学校であり、充実した国際理解教育が推進されていると思います。近い将来、このような学校が増えてくることは容易に想像できます。実態に応じた取り組みが大切ですが、今後を見据えた教育の大切さを認識させられました。 [鹿児島県／K小学校]

読者モニター募集のご案内

『VIEW21』小学版では、企画や誌面づくりのFAXアンケートにご協力いただける先生を募集しています。今年度、小学校にご勤務されている先生に、年5回程度のFAXアンケートをお願いする予定です。次回からのご回答謝礼として、1回につき500円の図書カードと本誌1冊を、小学校のご住所宛てに送付・進呈いたします。ぜひご応募ください。

◎応募方法〈締め切り: 8月30日(金) 受信分まで〉

下記の①～⑤をA4用紙1枚(書式自由)にご記入の上、FAX 0120-959-887(送信料無料)にお送りください。

①ご勤務先の小学校の郵便番号、住所 ②学校名(漢字、フリガナ)
③お名前(漢字、フリガナ) ④役職 [1:校長 2:副校長 3:教頭
4:教務主任 5:学年主任 6:研究主任 7:一般教諭(担任あり)
8:一般教諭(専科) 9:その他] ⑤担任をお持ちの場合の学年

*2013年11月中旬予定のアンケートの発送をもって結果のお知らせいたします。
(応募多数につき、お願いできない場合は9月下旬頃に封書にてご連絡いたします)

子どもは未来

ベネッセ教育総合研究所は、
子どもたちの成長に寄り添う研究と
社会への発信を通して、
一人ひとりが学びに向かい、
今と未来を“よく生きる”ことに
貢献することを目指しています。

ベネッセ教育総合研究所

編集後記

今号から「ベネッセ教育総合研究所」から「VIEW21」を刊行する運びとなりました。今まで同様、学校現場が抱える切実な課題に向き合い、先生方と共に解決策を考えていくという編集方針は変えません。それに加えて、これからの社会を小学生が生き抜いていくために、どのような力や姿勢が必要なのかを探り、発信してまいります。今後ともご指導のほどよろしく申し上げます。

ベネッセ教育総合研究所 情報編集室室長 小泉和義

VIEW21 小学版 2013 Vol.2

2013年8月12日発行／通巻第37号

発行人 岡田晴奈
編集人 谷山和成
発行所 (株)ベネッセコーポレーション
ベネッセ教育総合研究所

印刷製本 凸版印刷(株)
編集協力 (有)ペンダコ
執筆協力 二宮良太
撮影協力 荒川潤、川上一生
イラスト協力 幸剛

◎お問い合わせ先

情報編集室
〒206-8686
東京都多摩市落合1-34
電話 042-311-3390